



# 4月のほけんだより



令和6年4月1日発行  
千川保育園

ご入園、ご進級おめでとうございます。新年度を迎え、ひとつ大きくなった！という喜びと期待いっぱいの笑顔に出会うことができ、とてもうれしく思います。

今年度も保健に関する情報を「ほけんだより」を通してお知らせしていきます。よろしくお祈りいたします。

## 園医さんの御紹介

- <内科健診>  
田原医院
- <耳鼻科検診>  
むさしの耳鼻科矢野医院
- <眼科検診>  
みどり町眼科
- <歯科検診>  
林歯科医院

## 年間保健行事予定

- <内科健診>  
毎月1回
- <身長・体重測定>  
毎月1回  
(つぼみ組は生後12か月まで  
体重測定が月2回)
- <胸囲>  
5月・10月  
(つぼみ組のみ頭囲4月・10月)
- <歯科検診>  
6月・11月ころ
- <耳鼻科・眼科検診>  
5・6月ころ

## 気になるときは… お伝えください

お子さんの様子で少しでも気になるようなことがある場合は、登園時、職員に伝えてください。次のような観点で、具体的に伝えていただけますと、園での対応の参考になります。連絡ノートにご記入の場合は、その旨をお伝えください。

### □どこが気になるのか

いつもより機嫌が悪い／「おなかが痛い」と言っていた／ご飯をいつもより食べなかったなど



### □当日の連絡先

何か変化があったとき、すぐに連絡がつくようにしてください。ご登録の緊急連絡先と違う場合は、必ず教えてください

### □家庭での対応

〇時に検温したら〇℃だったなど



保育園で使用している薬で、わからないことがありましたら、保健担当までお声かけください。ノートに書いていただいても大丈夫です。

### 傷の手当て

石鹸で洗ったり、水をつけたコットンで拭いた後に、抗生物質の軟膏やプロペトをつけたり、カットバンを貼る。傷の手当は乾燥させるより、湿らせた状態のほうがきれいに、早く治ると言われています。そこで保育園ではプロペト等を塗っています。

**おうちに帰ってカットバンが汚れた時やお風呂に入る前は必ず、はがしてください。貼りかえる際は、傷口をきれいにしてから貼りかえてください。**

**虫刺され**…洗った後、かゆみ止め（ムヒベビー）を塗る

## 今月の行事

- 2日（火）ゆり組・さくら組
- 3日（水）すみれ組
- 4日・18日（木）つぼみ組
- 9日（火）ちゅうりっぷ組
- 10日（水）たんぽぽ組
- 15日（月）内科健診

身体測定

次ページに感染症罹患時の登園停止期間（登園のめやす）を載せています

## 感染症罹患時の登園停止期間（登園のめやす）

登園停止が必要な感染症（医師による登園許可証が必要）

病名	登園停止期間
麻疹（はしか）	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日経過していること（乳幼児の場合）
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること
風しん	発しんが消失していること
水痘（水ぼうそう）	全ての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹が発現してから5日経過、かつ全身状態が良好になっていること
結核	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱・充血等の主な症状が消失した後、2日を経過していること
流行性角結膜炎	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	特有な咳が消失していること又は5日間の適正な抗菌薬による治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症 （O157・O26・O111等）	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症 （髄膜炎菌性髄膜炎）	医師により感染の恐れがないと認められていること
急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと認められていること

条件によって登園停止の処置が必要と考えられる感染症（登園届が必要）

病名	登園のめやす
溶連菌感染症	抗菌薬の内服後24～48時間が経過していること
伝染性紅斑（りんご病）	全身状態が良いこと
手足口病	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること
ウイルス性胃腸炎	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
突発性発しん	解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと

通常登園停止の措置は必要ないが、医療的な見解が必要な感染症

病名	留意事項
アタマジラミ	シラミの駆除、タオルや帽子などの共用をさける、着衣・シーツ・帽子の洗濯
水いぼ	皮膚と皮膚の接触により感染する可能性があるため、衣類・包帯などで覆う
とびひ	病変部の処置と被覆 プール遊びは避ける 病変部の直接接触を避ける